



Subaru

男声合唱団

ニュース No.347

'12. 02. 08

「川の流れるように」他をレッスン

2月3日

- 2月3日（金）は奥村さんの体操、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノで「川の流れるように」、「天の火」と「ゆらゆら春」をレッスンしました。参加は全30名でした。
- 「川の流れるように」は2部合唱に編曲、「どんなところ？コンサート」と「保険医協会つどい」曲です。歌いこんで、今後どこに呼ばれた時でも歌えるようにします。
- 「どんなところ？コンサート」と次の日の「保険医協会50周年つどい」の候補曲の「楽譜」を追加持参して今後のレッスンに臨んで下さい。
 - ・春を待つ ・故郷の四季より（村祭、冬景色、故郷）・林道人夫・島唄・白樺・百万本のバラ
 - ・川の流れるように・ゆらゆら春・天の火・ねがい・歎びのナーダム・フィンランディア

「がんばろフェスタ」賑やかに開催

2月5日

- 恒例の「がんばろ大阪フェスタ2012 はじまりはいつもここから・・・」（主催：大阪のうたごえ協議会）が2月5日（日）にヴィアール大阪で開かれ、大勢の大阪のうたごえの仲間が一同に会し、各地区別、女性、職場、青年の各うたごえ、アコーディオンクラブや、恒例の幕開けの獅子舞など、にぎにぎしくステージに立って、今年の活動の元気なスタートと、2013年の「日本のうたごえIN大阪」成功への誓いもあらたに交流をしました。



- 2013・IN大阪で、「大阪城ホール」を埋めつくすため、早速、がんばろフェスタの後、引き続き日うた祭典準備会が開かれました。出席のみなさまご苦労様です。

□「昴」が一員である「市内南部のうたごえ」は、檀先生のソロで「おらあこごがいい」、檀先生の指揮で、皆で「私の好きなこの街」をステージで歌いました。両曲とも東日本大震災、福島原発被災の被災者への支援・連帯を表す選曲です。「昴」の参加者は15名、ステージに立ったのは全員で40数名でした。

‘13 日うた祭典めざし大阪燃える！

がんばろ大阪フェスタ開催

立川さん投稿

2月5日（日）に大阪でがんばろフェスタが開催されました。この取り組みは‘98大阪ドームでの日うた50周年祭典を大阪の総力を結集して、2万5千人の組織で大成功させたその力を持続させようと毎年始めに一年の決起の場として取り組んできたものです。

今年は35サークル300人が参加し、地域合同演奏、うたう会、抽選会など大交流し、大阪のパワーが大爆発しました。オープニングは恒例の獅子舞で一年の健康を願って頭を噛んでもらいました。続いて5つの地域合同の演奏では昨年被災地コンサートに取り組んだところもあり、支援の歌が続きました。合同演奏をしない地域はうたう会を担当し、元気の出る歌をたっぷり歌い交わしました。次にアコ合同は賑やかな「八木節」で、次に150人の女声合同は古謝さんの「童神」をとて暖かい歌声で、日うた祭典の成功を予感させるものでした。職場のうたごえの歌は「絆」で今の厳しい労働現場の中で、幸せな暮らしへの願いを力強く歌いました。青年のうたごえは今年8月11日～12日に大阪で開く「青年のうたごえ祭典」の大きな横断幕を持って登場し、参加と協力を訴えました。次の30秒アピールコーナーでは8サークルが「ボルガの旅」やコンサートを熱烈に宣伝しました。その後、時間のない中参加者の半数が当たる抽選会があり、目玉商品は大阪の誇る作曲家の作曲権でした。フィナーレは被災地に思いを込めて「心をつなごう」を大合唱しました。

フェスタ終了後、すぐに日うた祭典準備会を60名の参加で開催しました。昨年の総会で日うた大阪開催を決めた後、プロジェクトチームを先行させて11月2日に大阪城ホールを予約できた事、プロの音楽家との交渉を進めた事などの企画案や、10月までにホール代の600万円の賛同金が必要なことなど予算案を説明し、各地域の取り組み状況を話し合いました。具体的な組織目標を出しているところなど、ほとんどの地域で話し合いが進んでいました。フリートークでは「原発ゼロの集会やメーデーなど色々な場所で祭典を宣伝しよう」「大阪らしい笑いの企画が欲しい」「安心して暮らせる社会を目指す企画が欲しい」「親子のステージを若い親に広げたい」「グッズなど宣伝を広げよう」「スタッフの依頼にもきめ細かな取り組みが必要」など祭典への前向きな多岐にわたる意見が続出しました。フェスタの中で訴えた日うた派遣カンパは53615円集まり、‘13年の日うた祭典を目指す「大阪のうたごえ」の力強いスタートの取り組みとなりました。

西島さんの写真遊び

「五木の子守唄」

昨年3月九州新幹線は博多、新八代間が開通し鹿児島中央まで繋がった。とは言え球磨川の河口に広がる八代市は特に注目されることもない通過駅である。国道3号線が渡る「夕葉橋」の上からカッパも住むと云う球磨川上流を見る。正面の山は龍が棲むのか「竜峰山」。



「ここは八代五木の里や遙か」

八代駅から南東へ球磨川に沿って肥薩線で約50km上流には人吉市、ここで分岐した川辺川を30km程さかのぼると今や見捨てられた五木の子守唄の里がある。その下流約10kmあたりに長期にわたる反対運動により現在は工事が中断されている「川辺川ダム」があり、これが完成すると五木の里は水没する。10年程前の反対集会の時この辺りの写真を撮ったが、昨年全て消失してしまい残念至極。また撮りに行くのは困難至極。八ツ場ダムのように再び工事が息を吹き返すことのないことを願う。



「珉珉の餃子」

3の日が練習日だったら、彼は「珉珉」に寄り、割引の餃子をお土産に買って帰るのが楽しみだった。

2012年2月3日＝節分＝第一金曜日＝「昴」練習日。
久しぶりのこの3の日、醍醐さんを偲びつつ。

「3の日だ割引き餃子醍醐味だ」